



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: CELEBRATE ROTARY - 100 YEARS

「ロータリーを祝おう－100年の歩み」

2004～2005年度・国際ロータリーテーマ／グレンエエステス・シニア会長

「ひとが基本です－みな輪になり手をつなごう」

2004～2005年度・東京新南ロータリークラブテーマ／入沢頼二会長

【本日の例会】2004年10月22日 第861回例会

◎卓話

「これから注目したい旅行先」

(株)パノラマインターナショナル取締役副社長 金子良三氏
(紹介者 清水会員)

【先週報告】10月15日 第860回例会

◎卓話

「運をつかむ社員を育て、
良い会社をつくるために」

東京西ロータリークラブ会員
経営サポートサービス(株)代表取締役社長

重茂 達氏
(紹介者 清水会員)



◎副幹事報告(村山副幹事)

第1回クラブフォーラム(11/19 例会後13:10～14:30)へのご出席をお願い致します。

◎環境保全委員会報告(田村昭二委員長)

平成16年度版「目で見える環境白書」(環境省発行)を皆様のボックスにお配りしましたので、是非ご一読下さい。(詳細裏面参照)

◎社会奉仕委員会報告(岩上委員長)

風の子会主催・障害者は外に出よう「おでかけ一番、横浜二番、三時のハイクは麻布十番」(11/6 事前打合せ、11/14 本番)へ是非ご参加下さい。お申込みの締切りは次週10月20日です。よろしくお願い致します。

◎慶事披露

お誕生日祝／河原勢自君(10月20日)
100%出席祝／馬場一廣君(18年)



◎出席報告

会員58名／出席34名・欠席24名(出席規定免除者7名)



10月15日 / 9件 21,000円
2004～2005年 累計 432,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

入沢頼二／重茂さん本日の卓話ありがとうございます。
開発英基／息子の成長を実感する嬉しい出来事がありました。
馬場一廣／100%出席ありがとうございます。
小杉修造／7人目の孫が出来ました。
武内光晴／先日、ソフトボールの試合でランニングホームー気味の三塁打を打ちました。結果18対19のサヨナラ勝ちを致しました。
竹本孝三郎／季節の変わり目を強く感じるこの頃です。
健康に気をつけましょう。
武下朗／天高く我ほそる(何のこっちゃ!)一寸風邪気味です。
西澤民夫／やっと秋晴れとなりましたね。馬場さんご苦労様です。
石井謙次／馬場先生、ご苦労様です。

国際ロータリーの現状報告

2004年6月末現在、全世界のロータリアンの総数は121万1,723人、クラブ数は3万1,603、地区数は529、加盟国数は166であります。前年度に比して、クラブ数は42増加し、会員数は15,822人減少しました。なお、2004年8月末現在の女性会員数は全世界で14万6,527人、女性のクラブ会長は4,247人、女性ガバナーは48人であります。

わが国では、2004年6月末現在で、クラブ数は2,328、会員数は10万3,325人となっております。2003年末に比して、クラブ数で4増加し、会員数で3,285人減少しました。

2002～03年度のRIの財政状況は、総収入が6,046万ドル、総支出が6,220万ドルでした。総資産は1億1,320万ドルですが、総負債2,670万ドルを差し引いた純資産は8,650万ドルであります。前年度に比して、収入は410万ドル上回り、支出は110万ドル下回り、総資産は460万ドル減少しました。2004年6月末日現在の一年間のRIの財務状況は、収入が8,010万ドル、支出は7,230万ドルでありました。収入は昨年に比べ33%、1,970万ドル、予算より12% 880万ドル多く、支出は昨年に比べ16%、1,010万ドル多く、予算より3%、230万ドル少ない結果となりました。

—「ガバナー月信」10月号

次週10月29日(金)は休会です。

【次回予告】11月5日 第862回例会

◎次年度(2005～2006年度)理事・役員候補者指名

◎卓話予定

「ウィーン音楽事情」(仮)

ウィーン・メロス音楽研究所 代表 野村三郎氏
(紹介者 清水会員)

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

各企業のISO14024取得の活性化、及びSRIにより企業を総合的に評価しようとする動き、又ロシアが批准することにより来年春頃には先進国の温室化の温室効果ガス排出量の法的拘束力のある数値約束を設定した京都議定書が発効される可能性等、及び環境問題に対して認識が高まる中、一人一人が取り組む事により大きな成果が期待されます。そこで『平成16年度版 環境白書』を参考に【身近に出来る事から実行しよう！】をテーマに活動して行きたい。以下の白書の抜粋を記載いたします。

1. 環境革命の時代へ

「産業革命」「IT革命」に続く環境革命が生まれます。

①環境のわざ

…環境保全のための技術

…環境に配慮するための方法や仕組み

…環境保全のための技術実施状況

1位 運転時の不要なアイドリング、空ぶかし、急発進をしない。

2位 ゴミは地域のルールに従い分割して出すようにしている。

3位 観光余暇活動の際、自然を破壊する事が無い様に気をつけている。

②環境のこころ

…夏場のエアコンを27℃から1℃上げるだけで5.9Kg

…冬場のエアコンを21℃から1℃下げるだけで25.7Kgの二酸化炭素排出量の削減が可能

…【田んぼビオトープ】による自然復活及びコウノトリ飛来

2. 日本でそして世界へ

①くらしの環境革命を目指して

★自然とふれあう機会をもっと増やしたいと思うか？

・今も自然とふれあう機会があるがもっと増やしたいと思う・・・44.7%

・自然とふれあう機会は殆どないが今後はその機会を増やしたいと思う。……………28%

★生活が便利な所か自然の豊かな所に住みたいか？

・現在住んでいるところよりも生活が便利なところ・・・35.5%

・現在住んでいるところよりも自然環境に恵まれたところ・・・43.7%

②環境ビジネス…環境誘発型ビジネス

1. 自然観光型の観光

2. 省エネ型家電製品

3. 低排出・低燃費型の自動車

4. 環境保全型農業

5. エコファンド

6. リースレンタル

	2000年	2005年
市場規模	41兆円	103兆円
雇用規模	106万人	222万人

③世界に広げる環境の技…国際環境協力

日本で作られ優れた「環境のわざ」は政府、公共団体、企業、NGO等により世界に広がっており、地球規模の環境問題等の解決に大きく貢献しています。

第二部では環境問題の現状と政府が環境保全に関して講じた施策等が記述されています。特に平成16年5月に「地球温暖化対策推進法」を改正し、同年6月には先進国の温室効果ガス排出量について設定した京都議定書を締結しました。16年現在、120カ国と欧州共同体が締結し、先進国全体の排出量の55%を超えた場合に90日後に発効されます。ロシアが批准されると55%を超え、17年春頃には発効される可能性があります。

去る10月5日午後3時より2750地区千代田、京浜、山の手A、Bグループを対象に、雑誌委員長会議がホテルパシフィック東京で開催されました。

先ず、秋山一・ロータリーの友特別顧問(パストガバナー)より、「自分がガバナーに就任するとき、先輩のガバナーから「ロータリーの友」を3年分読みなさい、と言われ、読み返した。「友」は長い伝統の中で、ロータリアンの身になって編集されていることを実感した。3年前に、「友」は、世界で一番優れたロータリー誌であるということで、R1よりグランプリを受賞した。」と話され、ロータリーに関する情報はこの「ロータリーの友」から多くのものを得ることが出来ると力説。なるほど、この愛すべき「友」を、もっと熟読しなければならない、と痛感いたしました。

また、太平洋戦争のために、日本は国際ロータリーを脱退しましたが、ロータリーを愛する日本のロータリアンは隠れキリシタンのように活動をつづけていたという余談にも感銘を受けました。

次に、坂本俊雄・前ロータリーの友委員から「友」はロータリーの機関紙であり情報誌である、と前置きし、「友」は年々、掲載内容が充実してきている、ロータリアンは「友」に投稿し、記録として残しましょう、と出席者たちに呼びかけました。確かに、投稿することによって、「友」は、より一層、身近かで親しみのあるものになるでしょう。

休憩のあと、「作成する側から見た「友」と題して、本行輝雄・ロータリーの友事務所長と二神典子編集長のお二人から、お話を聞きました。

本行所長は、2,500地区(北海道東部)で行われた「友」についてのアンケートの結果を披露、

毎月、読むのが楽しみ・・・6%

ひと通り読む・・・88%

あまり読まない・・・6%

ということで、各ロータリアンが、自ら「ロータリーの友」づくりに投稿を通じて参加すれば、「読むのが楽しみ」の割合がもっと増えるのではないかと締め括られた。

二神編集長は、現場の長としての苦労ばなしを話された。まず、寄せられた原稿の整理から始まり、記事をいかにスリムにするか、ということに腐心、写真や小見出しを多用(ビジュアル化)し、見やすい紙面づくりを心掛け、また、豊富な語彙を持つことが必要なので、電子辞書を持ち歩いている、などなど、編集長ならではの苦労話を聞くことが出来ました。

最後にロータリアンの素晴らしい記事を友の編集室に送ってほしいと要望され、なお、政治、宗教に関する記事、および集合写真は受付けないので、投稿の際、注意していただきたい、と柔らかく釘を刺され、委員長会議は終了しました。

当クラブの奉仕活動が掲載されれば、会員の「友」に対する関心が大いに高まるでしょう。また、会員やご家族に、短歌、俳句、川柳を趣味とされている方も多いはず。遠慮されずに、名歌、名句を投稿していただきたいものだ、と思いを深くして帰路につきました。